長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2021年第5週　　2021年2月1日（月）～2021年2月7日（日）　　2021年2月12日作成

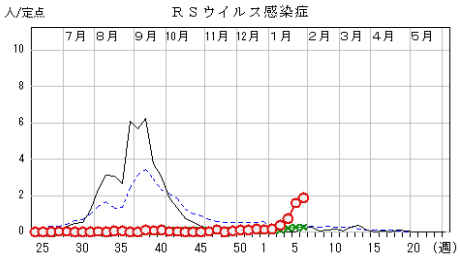
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位３疾患）の発生状況

（１）　ＲＳウイルス感染症

第5週の報告数は83人で、前週より15人多く、 定点当たりの報告数は1.89であった。

年齢別では、１歳（34人）、２歳（20人）、１歳未満（19人）の順に多かった。

定点あたり報告数の多い保健所は、県北保健所（6.00）、佐世保市保健所（5.83）、県南保健所（4.60）であった。

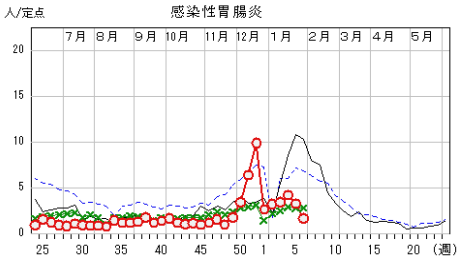


（２）　感染性胃腸炎

第5週の報告数は73人で、前週より68人少なく、 定点当たりの報告数は1.66であった。

年齢別では、10～14歳（13人）、２歳（10人）、１歳（9人）の順に多かった。

定点あたり報告数の多い保健所は、壱岐保健所（6.00）、県南保健所（2.40）、佐世保市保健所（2.17）であった。

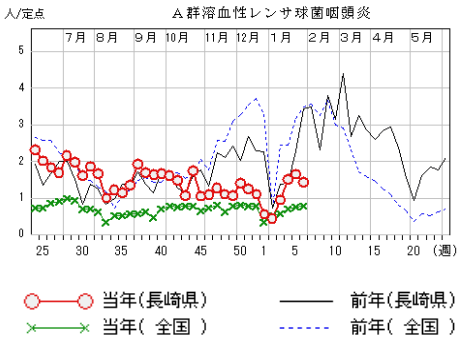


（３）　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第5週の報告数は63人で、前週より8人少なく、 定点当たりの報告数は1.43であった。

年齢別では、３歳及び10～14歳（9人）、５歳、６歳及び７歳（7人）の順に多かった。

定点あたり報告数の多い保健所は、県央保健所（5.67）であった。



☆上位３疾患の概要

【RSウイルス感染症】

第5週の報告数は83人で、前週より15人多く、 定点当たりの報告数は1.89でした。地区別にみると、県北地区（6.00）、佐世保地区（5.83）、県南地区（4.60）は、他の地区より多くなっていますので、今後の動向に注意が必要です。

RSウイルス感染症は、発熱や鼻水が主な症状の呼吸器感染症で、通常は軽症で済みますが、一部は重い咳が出て呼吸困難や肺炎になることもあります。ワクチンはなく、接触感染や飛沫感染で一度かかっても再感染し、大人も感染することがあります。乳幼児、特に6ヶ月未満の乳幼児が本ウイルスに罹患すると、呼吸困難を伴う重篤な細気管支炎や肺炎、脳症を発症することがありますので、心臓などに基礎疾患のある小児では特に注意が必要です。乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

【感染性胃腸炎】
　第5週の報告数は73人で、前週より68人少なく、 定点当たりの報告数は1.66でした。地区別にみると壱岐地区（6.00）、県南地区（2.40）、佐世保地区（2.17）は他の地区より多くなっていますので、今後の動向に注意しましょう。
 本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。原因微生物のうち、ロタウイルスについてはすでにワクチンが認可されていますので、予防することが出来るウイルスです。特に乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】
　第5週の報告数は63人で、前週より8人少なく、 定点当たりの報告数は1.43でした。地区別にみると県央地区（5.67）は他の地区より多くなっていますので、今後の動向に注意しましょう。
　本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。不十分な治療は無症状保菌者を生じやすいため、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いやうがいを励行し、感染防止に努めましょう。

◆全数届出の感染症

1類感染症： 報告なし

2類感染症： 結核　無症状　男性　（50歳代・1名）

3類感染症： 報告なし

4類感染症： 報告なし

5類感染症（全数把握対象）： カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　患者　男性　（40歳代・1名）

※新型コロナウイルス感染症の発生件数については、長崎県ホームページに掲載しています。

◆定点把握の対象となる5類感染症

（1）　疾病別・週別発生状況　　（第53～5週、12/28～2/7）

疾　患　名	定点当たり患者数					
	53週	1週	2週	3週	4週	5週
	12/28～	1/4～	1/11～	1/18～	1/25～	2/1～
インフルエンザ	0.04	0.04				
ＲＳウイルス感染症	0.12	0.16	0.37	0.74	1.58	1.89
咽頭結膜熱	0.09	0.40	0.28	0.30	0.26	0.16
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	0.56	0.44	0.95	1.51	1.65	1.43
感染性胃腸炎	2.65	3.21	3.42	4.23	3.28	1.66
水痘	0.21	0.16	0.19	0.26	0.16	0.23
手足口病	0.07	0.02	0.02	0.02	0.26	0.16
伝染性紅斑（リンゴ病）				0.02	0.02	
突発性発しん	0.14	0.51	0.42	0.30	0.51	0.45
ヘルパンギーナ						
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		0.05		0.12	0.05	0.05
急性出血性結膜炎						
流行性角結膜炎	0.13		0.25			
細菌性髄膜炎				0.08		
無菌性髄膜炎		0.17				
マイコプラズマ肺炎	0.08				0.33	0.25
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		0.08				

（2）　疾病別・保健所管内別発生状況　　（第5週、2/1～2/7）　　※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾　患　名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ											
ＲＳウイルス感染症	1.89	5.83		1.50		0.67	4.60	6.00			
咽頭結膜熱	0.16		0.40			0.33	0.20				
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	1.43	0.83	0.70	0.50	0.50	5.67	1.80	1.33			0.50
感染性胃腸炎	1.66	2.17	1.40	6.00	1.50	1.00	2.40	2.00	0.25	1.50	
水痘	0.23	0.17	0.20			0.67	0.20	0.33		0.50	
手足口病	0.16	0.17						2.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）											
突発性発しん	0.45	0.67	0.30			0.50	1.20	0.67	0.25	0.50	
ヘルパンギーナ											
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.05						0.20	0.33			
急性出血性結膜炎											
流行性角結膜炎											
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	0.25			3.00							
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											